

わかまつ通信

～「わかまつ」は吉備高原学園高等学校校歌の歌詞に由来～

平成30年度 第1号

発行 吉備高原学園高等学校
岡山県加賀郡吉備中央町上野 2400 番地
Tel 0866-56-8211 Fax 0866-56-8214
<http://www.kibikogengakuen.ed.jp/>

寮生活が教えてくれた基本的な生活習慣の大切さ —— 不登校は過去のこと、協働と協調、そして自立！ ——

☆寮生活を通して大きく成長し卒業した生徒たち



〈平成30年3月卒業証書授与式〉

吉備高原学園高等学校には、人間関係をはじめ何かにつまずき、不登校を経験した生徒が多く在籍しています。人間関係でつまずいた生徒には、理屈ではなく、寮生活・学校生活を通じて、人との出会いを大切に、多くの人と触れ合い、人との信頼関係を築いて成長していくことが必要です。一人ではなかなか一歩を踏み出せなくても、同じ屋根の下で寝食を共にする仲間や教員と励まし合い、支え合い、力を合わせれば、頑張ることが出来ます。



〈男子寮、女子寮、それぞれの寮での生徒たちの生活の様子〉

卒業生（平成30年3月卒業）が残した言葉・・・不登校の過去を全寮制高校で克服

◇寮生活を通して人を思いやる気持ちが芽生えた

私は吉備高原に入学して本当に良かったと思っています。私は中学生の時学校に行くことができず将来に不安を抱いていました。そんな中、不登校の子どもを受け入れる吉備高原学園高等学校を知り、入学することにしました。最初は、ずっと他人と一緒にいることが苦痛だったり、トラブルなどで辛い時期もありましたが、進級するにつれ仲の良い友人もでき、寮生活が楽しくなりました。そして、高校で過ごす中で、中学生の私のように辛い思いをしている人の力になる仕事がしたいと思うようになりました。来年就職した先でその夢がかなえられるよう、人間関係の大切さや継続することの重要さなど吉備高原学園高校で学んだことを生かし、一生懸命努力したいと思います。吉備高原学園高校で過ごせた3年間は、本当に大切な思い出になりました。ありがとうございます。（平成30年3月卒業 鳥取県出身女子）

◇支えてくれる友達が人生の糧

吉備高原学園高校での3年間は自分にとって、とても濃い高校生活となりました。僕は昔から朝が苦手な中学生の時、毎朝遅刻の毎日でした。中3の時担任の先生と進路について考えた頃、候補が定時制の高校でしたが、先生の思いもあり、全寮制の吉備高原学園高校に決めました。入学当初は普通の高校にすればよかったと後悔した時もありましたが、今は全く後悔していません。辛かった時も支えてくれる友達と過ごしていると、自然と寮生活も楽しくなっていました。今では友達にすごく恵まれていたなあと思います。とても自分の人生の糧となる高校生活を送れたと思います。今まで自分の人生に関わってきた人達に恩返しのできるよう人になりたいです。ここまで自分を育ててくれ、高校生活を後押ししてくれた両親にもとても感謝しています。ありがとうございます。（平成30年3月卒業 岡山県出身男子）

◇勉強に対するモチベーションも上がった

吉備高原高校で得られたことは3つあります。1つ目は、生活習慣の改善です。中学生の自分は親に甘えていました。洗濯・食事・掃除など家事は親がするのが当たり前、という考えをしていました。しかし、実際、寮で洗濯や掃除などを自分でやってみると、思っているよりしんどく、親がいかに大変な思いで家事をしていたかを身にしみて感じるようになってきました。それからは気づいた時は家の手伝いをするようにしています。2つ目は、勉強に対するモチベーションが高まったことです。入学する前は将来に対する希望が薄く、自分がどんな未来に進もうがどうでもいいと思っていました。しかし、先生方や友達と学びを深めることで勉強の意欲が湧いてくる自分がいました。今ではしっかりと将来を見つめ歩けるようになってきました。そして大学に入り夢を叶えることで恩返しをしたいです。3つ目は、最高の仲間が出来たことです。全寮制という吉備高原学園高校ならではの環境だからこそ、積極的に友達と話すことが出来ました。1年、2年と時が経つにつれて時々トラブルもありましたが、親身に相談に乗ってくれる大変良い仲間にも助けられました。みんなありがとう。（平成30年3月卒業 神奈川出身男子）

裏面へつづく



これから、ここからはじまる。
吉備高原学園高等学校

全日制 / 普通科 / 全寮制

〒709-2393 岡山県加賀郡吉備中央町上野 2400 番地
Tel 0866-56-8211 Fax 0866-56-8214